



ファームウェア バージョン :	R4.10.004	
ハードウェアバージョン :	DGS-1210-10P	C1
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-52	
発行日 :	2016/1/29	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
追加機能 :	9
修正した問題点 :	9
MIB 及び D-View の変更点 :	10
コマンドラインインターフェースの変更点 :	10
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R4.10.004	2016/1/29	DGS-1210-10P DGS-1210-20 DGS-1210-28 DGS-1210-28P DGS-1210-52	C1

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI (Telnet 経由)、WebGUI または D-Link Network Assistant から実行することができます。

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア (例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド) を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例 : telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download{firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-1210-28> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-28-C1-4-10-004.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-28> show switch
```

```
System name           :  
System Contact        :  
System Location       :  
System up time        : 0 days, 1 hrs, 6 min, 44 secs  
System Time           : 01/01/2015 01:06:22  
System hardware version : C1  
System firmware version : 4.10.004  
System boot version   : 1.00.005  
System serial number  : S3271DB000036  
MAC Address           : 9C-D6-43-92-79-F4
```

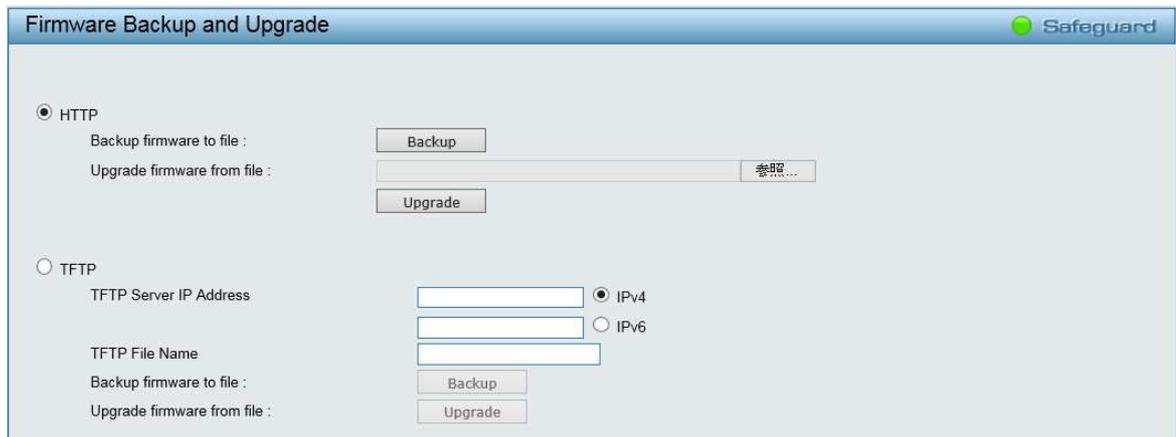
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード : admin
3. [Tools] メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [HTTP]を選択します。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) ファームウェアアップグレードが完了すると、以下の画面が表示されます。デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]に TFTP サーバの IP アドレス、[TFTP File Name]にファームウェアのファイル名を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

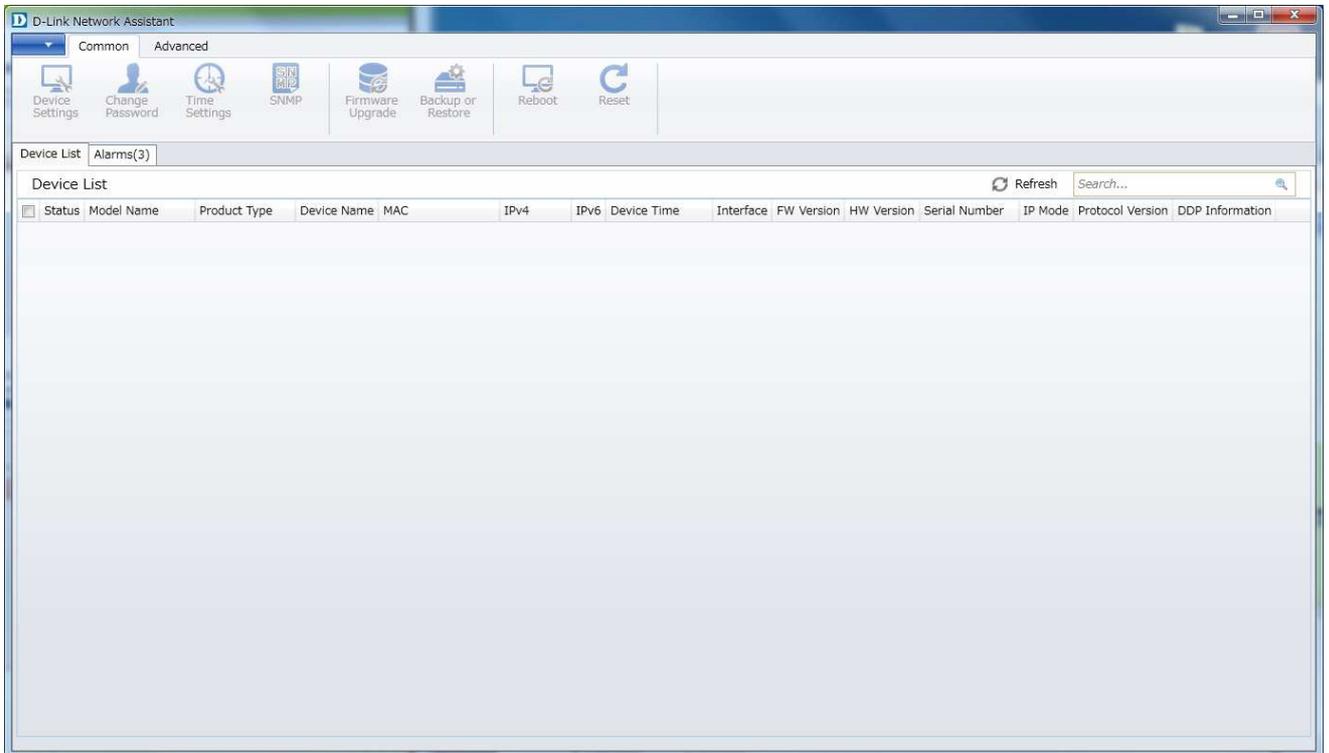
ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

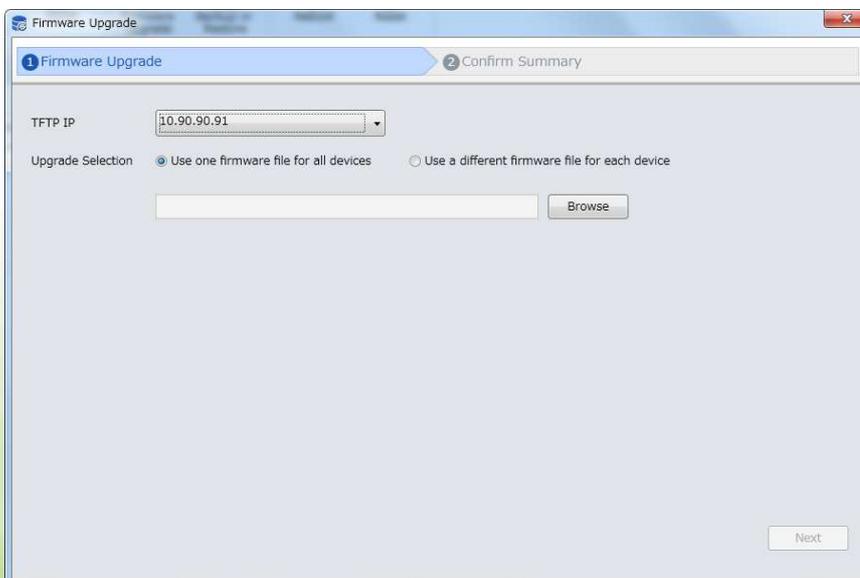
- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

D-Link Network Assistant を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. D-Link Network Assistant を起動します。



3. [Refresh] をクリックし、スイッチを検出します。
4. [Firmware Upgrade] アイコンをクリックします。
5. [TFTP IP] を選択 → [Browse] をクリックしてファームウェアを選択 → [Next] をクリックします。



6. [Notification] 欄のチェックボックスを選択 → [Authentication] 欄にユーザ名とパスワードを入力 → [Submit] をクリックします。

Firmware Upgrade

1 Firmware Upgrade 2 Confirm Summary

TFTP IP 10.90.90.91 Firmware File C:\¥ DGS-1210-28-C1-4-00-064.hex

Apply to All Devices

IsSupported	Model Name	MAC	IP Address	Serial Number
Yes	DGS-1210-28	70:62:B8:A2:3D:D	10.90.90.90	S3251E4000006

Notification

Warning : Do not disconnect the network or close this program during the upgrade process; unrecoverable damage to the devices may result. Please note that during the upgrade process, your devices may reboot.

I understand the risks

Authentication

User Name

Password

Previous Submit

7. 画面が切り替わり、ファームウェアアップグレードが開始されます。完了すると [Details] 欄にアップグレード完了のメッセージが表示されます。

Firmware Upgrade

1 Firmware Upgrade 2 Confirm Summary

Result

Result	Model Name	MAC	IP Address	Details
✓	DGS-1210-28	70:62:B8:A2:3D:D	10.90.90.90	Command has been successfully executed

Close

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.10.004	1. ポート設定で自動認識スピードダウングレードをサポート致しました。 2. WebUI で Legacy PD モードオプションをサポート致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.10.004	1. EEE のデフォルトを無効に変更致しました。 2. HTTP で WebUI に接続した際のセキュリティを強化致しました。 3. DGS-1210-52 においてパフォーマンスが出ないことがある問題を修正致しました。 4. ミラーの Target ポートで、CPU からの TX トラフィックが出力されない問題を修正致しました。 5. ログイン認証なしでコンフィグをダウンロードできる問題を修正致しました。 6. Configuration backup ボタンが動作しない問題を修正致しました。 7. Voice VLAN の問題を修正致しました。 8. MAC ACL において、マルチキャストおよびブロードキャストアドレスを設定できる問題を修正致しました。 9. LACP リンクにおける STP コストが正しくない問題を修正致しました。 10. http://10.90.90.90/config.bin もしくは http://10.90.90.90/config.cfg を開いたとき、スイッチが再起動する問題を修正致しました。 11. ACL プロトコルタイプが選択されないと、プロトコル ID 256 を表示する問題を修正致しました。 12. DHCP Discovery のリトライ時間を選択可能に致しました。 13. Windows Server2012R2 との LACP ネゴシエーションの確立に関する問題を修正致しました。 14. Blat attack DoS type 設定において、TCP 送信元ポート番号が送信先ポート番号と同じものをブロックするように修正致しました。 15. WebGUI で VLAN のポート設定変更ができないことがある問題を修正致しました。 16. スイッチの IP が DHCP モードの場合、TFTP サーバからファイルを取得できない問題を修正致しました。 17. Filter unregistered multicast 機能が動作しない問題を修正致しました。 18. D-Link Network Assistant において、既存の管理者パスワードを知らない場合でも管理者パスワードを変更できる問題を修正致しました。 19. PSE 仕様において、2-Event Physical Layer classification plus data link layer に変更致しました。(PoE モデルのみ) 20. CVE-2015-1789 の脆弱性に対する対策を追加致しました。 21. MAC ACL において 2MAC アドレス以上 Deny にすることができない問題を修正致しました。 22. VLAN と LBD を同時に使用した際の動作を修正致しました。 23. IGMP Leave が間違った送信元 IP で送信される問題を修正致しました。

MIB の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none"> 1. DHCPRetryTimes オブジェクトを追加致しました。 2. 自動ダウングレードを追加致しました 3. cableDiagPairStatusdoSCtrlDisplayState オブジェクトを修正致しました。 4. poePortLegacyPDDetect オブジェクトを追加致しました。 5. poePortDelayPowerDetect オブジェクトを追加致しました。

デフォルト値の変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R4.10.004	<ol style="list-style-type: none"> 1. LLDP/LLDP-MED のデフォルトを Disabled に変更致しました。 2. EEE のデフォルトを Disabled に変更致しました。

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R4.10.004	特になし

Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.